



ICTで変わる保育現場

福井市にある社中央第一・第二こども園では、今年4月からICTを活用した園児の体調管理を行っている。導入したのはより多くの体調管理が必要な0歳児と1歳児が対象。乳幼児の体温変化や、心拍数、午睡時の姿勢などが測定され、データは小型送信機により専用アプリに送信され、体調異常時にはアラートが鳴ったり、データは5分おきに自動記録されたりする最新のICTを活用した保育が行われ、保育士の仕事の軽減に繋がっている。



